

②④ 原稿執筆1日1万字!  
↓  
原稿執筆1日1万字  
そのコツと課題と  
たった1つの大切なこと

- 3つのコツは
  1. 執筆は初速が命→スタート3点キツを使う
  2. 30分単位で執筆工程を「見える化」する
  3. 執筆終えたら「おいしいご飯」を用意する
- 課題は「毎日1万字」が必ず無理なくできる仕掛け
- たった1つのこと「行動記録をつけておく」

②⑦ 超方眼ノートの感想  
↓  
「意識しなくても、  
論点が自然と書く  
クセがつく。なる  
ほどです」

- 論より証拠→使ってもらう機会を増やす!  
→ただ、あらかじめ「ポイント」を教える
- キーワードは「意識しない=無意識」×「クセ」  
→意識しないとできない…。と再現性ない  
→これが「フレーム効果」
- Q. どうすれば「この視点」に気づいてもらえるか?

②⑤ 株式投資セミナー参加  
↓  
21世紀の投資は「H」  
・1億総デブニ  
ランド化する世界の  
中での投資基準は?

- キーワードは「H=ホスピタリティ」「Hな企業」  
ポイント「脱マニュアル」→Hな企業の3つの鍵
  1. ビジョン(Hな企業はビジョンが生きている)
  2. 舞台(Hな企業は社員ひとりひとりをスターに)
  3. エンタメ(Hな企業の合言葉は楽しい)
- NS→1社、この3条件を満たすこれからの企業に投資

②⑧ 女子高生の初体験!  
方眼ノートで楽しい!  
↓  
部屋をキレイに片づけ  
たときの感覚に近い  
楽しさを、ノートでも  
実現できる(仮説)

- キーワードは「整理」
  1. 整理できると見た目スッキリ
  2. 整理できると理解できる
  3. 整理できるとやる気がでる
- 整理能力の問題ではなくノートが原因
- 「これ行けるかも!」で成績アップ

②⑥ A社プレゼン→受注  
↓  
プレゼンの目的は常識  
常識の畏を振り出し  
非常識なプレゼンで  
成エカする

- キーワードは「常識のコインの裏側に宝は眠る」  
ポイントは「最大の壁はプレゼンの常識」
  1. まず常識を認識し、常識を自ら否定してもらう
  2. そのために、なぜ常識の畏にはまったのかを探究
  3. 1人のための1枚・1パターンの「111」でOK
- NS→定期講座化→10月をメドに体験会を主催

②⑨ 滝藤賢一  
・映画のDVDを  
役者の目線で見ると  
  
仲代達矢の無名塾に入る  
不安をかき消すには  
努力しかない。その  
ひとつが台本への書き  
込みだった。考える!

- 映画
- 自分で調べて書き入れた「余白」のメモ  
→余白の創造性。なぜ「台本」には余白があるのか  
→そうか、余白に創造性生まれる
- 例) 言葉が現実を追いつかないもどかしさ  
→納得してもらえる表現をしないと  
顔芸がもつ「伝える力」。